

# 夏チャレンジ (その4)

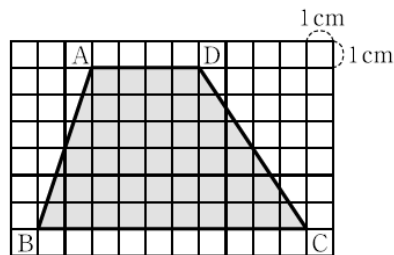
※小学校5年で学習する内容から

目標時間 (15分)

実際にかかった時間 ( 分)

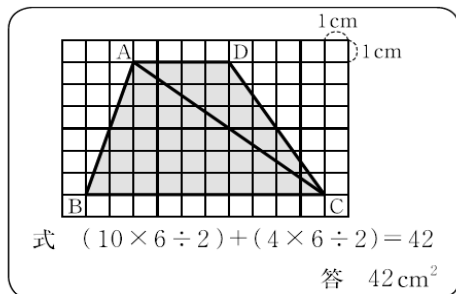
( )組( )番 名前( )

① のぞみさんたちは、次のような1めもりが1cmの方眼紙にかかれた台形ABCDの面積を調べています。あとの問いに答えなさい。



(1) のぞみさんとあつしさんは、台形ABCDの面積の求め方を次のように考えました。

【のぞみさんの考え方】



のぞみさんの説明

まず、台形ABCDを対角線ACで2つの三角形に分けます。

次に、2つの三角形の面積をそれぞれ求めます。

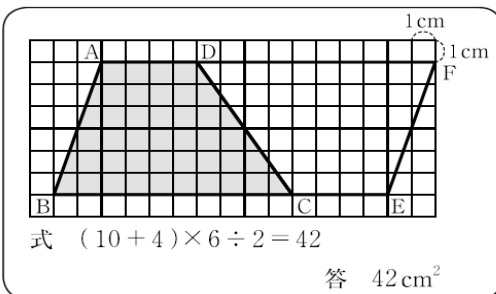
アは、底辺が10cm、高さが6cmなので、面積は $10 \times 6 \div 2 = 30$   $30\text{cm}^2$ になります。

イは、底辺が4cm、高さが6cmなので、面積は $4 \times 6 \div 2 = 12$   $12\text{cm}^2$ になります。

最後に、アの面積とイの面積を合わせると台形の面積になるので $30 + 12 = 42$

台形ABCDの面積は、 $42\text{cm}^2$ になります。

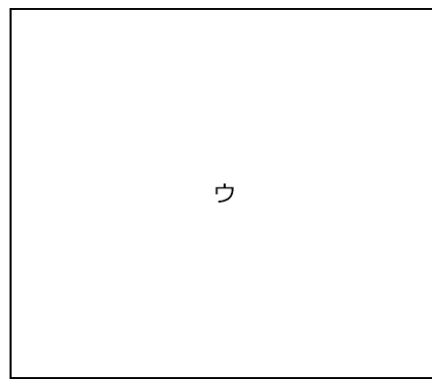
【あつしさんの考え方】



あつしさんの説明

まず、台形ABCDを2つ合わせて、平行四辺形ABEFをつくります。

次に、平行四辺形の面積を求めます。



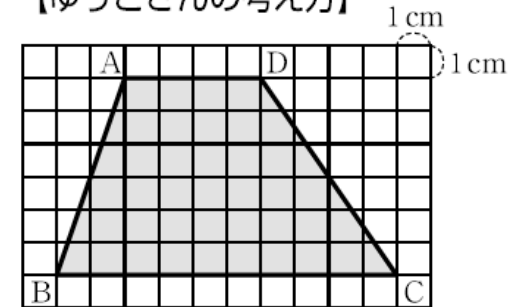
台形ABCDの面積は、 $42\text{cm}^2$ になります。

① のぞみさんの説明のア、イにあてはまる言葉を書きなさい。

② あつしさんの説明のウを、式と言葉を使って書きなさい。

(2) ゆうとさんは、台形の面積を右のような式で求めました。ゆうとさんは、どのように考えたのでしょうか。

【ゆうとさんの考え方】



式  $(4 \times 6) + (6 \times 6 \div 2) = 42$

答  $42\text{cm}^2$

	①	ア	イ
(1)	②		
(2)			